

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生涯学習推進課
 担当名: 地域連携担当、学力向上推進・学
 内線: 6979 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P40	放課後子供教室推進事業			一般会計	教育費	社会教育費	社会教育振興費	青少年教育振興費		
事業期間	平成19年度～	根拠法令	社会教育法第5条及び第6条		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4	
					分野施策	0506	家庭・地域の教育力の向上	SDGsターゲット	4-1	
<p>1 事業概要</p> <p>子供を取り巻く環境の変化を踏まえ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが求められている。市町村においては、子供たちの安全・安心な居場所である「放課後子供教室」や、土曜日に社会人や企業の参画を得て、子供たちの活動を支援する「土曜日の教育支援」、学習が遅れがちな中学生等を支援する「中学生学力アップ教室」を実施する。県は推進委員会及び指導者研修を実施するとともに、市町村が実施する事業の支援を行う。市町村実施事業額が見込みを下回ったことに伴う補助金の減 $\Delta 1,027$千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 放課後子供教室推進事業 208,497千円</p> <p>イ 中学生学力アップ教室 17,812千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 放課後子供教室推進事業</p> <p>(ア) 県実施事業</p> <p>a 推進委員会の設置 保護者や地域の代表者、市町村関係者等で構成する推進委員会を設置し、実施方針の検討、指導者研修の企画等を行う。また、市町村の取組を集めた事業報告書を作成し、事業の一層の充実を図る。</p> <p>b 指導者研修の実施 コーディネーター等の資質向上や情報交換・情報共有を図るための研修を実施し、事業の推進を図る。</p> <p>(イ) 市町村実施事業補助 放課後子供教室、土曜日の教育支援を実施する市町村に対し補助金を交付する。</p> <p>イ 中学生学力アップ教室 中学生学力アップ教室を実施する市町村に対し補助金を交付する。</p> <p>(3) 事業効果(実施市町村数・対象学校数)</p> <p>ア 放課後子供教室推進事業</p> <p>(ア) 放課後子供教室 令和4年度: 48市町村375校⇒令和5年度: 49市町村380校(予定)</p> <p>(イ) 土曜日の教育支援 令和4年度: 10市町 169校⇒令和5年度: 11市町 186校(予定)</p> <p>イ 中学生学力アップ教室 令和4年度: 12市町 59校⇒令和5年度: 13市町 63校(予定)</p> <p>(4) 補正予算の概要 市町村実施事業額が見込みを下回ったことに伴う補助金の減</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>ア 県実施事業(国1/3・県2/3)</p> <p>イ 市町村実施事業補助(国1/3・県1/3)市1/3</p>										
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>普通交付税(単位費用)(区分)社会福祉費(細目)児童福祉費(細節)児童福祉共通費(積算内容)放課後子どもプラン推進事業費補助(1/2)</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×1.3人=12,350千円</p>										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金								
決定額	$\Delta 1,027$	$\Delta 514$						$\Delta 513$	226,309	
現計額	227,336	113,594						113,742		

事業内訳書

事業名	放課後子供教室推進事業		
単位事業名	中学生学力アップ教室	予算額	△ 1,027千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 社会教育費補助金	△514	—	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金 補助率 1/3・1/2
一般財源	△513	—	
合計	△1,027	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△1,027	—	市町への補助金の減 中学生学力アップ教室 13市町分
合計	△1,027	—	